



みんなでつくるばんどう未来ビジョン 各種政策に取り組んでいます

財政健全化政策 行政のスリム化・未来に負担を残さない財政改革

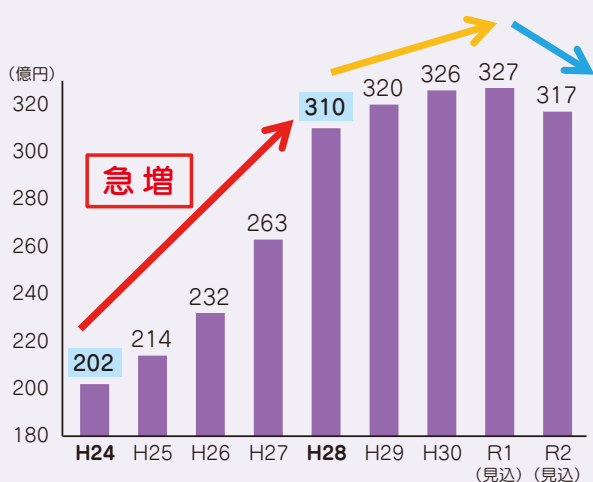
坂東市では「みんなでつくる」という理念のもと、市民のみなさんからお預かりした貴重な税金を、ご期待に寄り添う使い方に転換すべく、様々な改革に取り組んできました。

限られた財源のなかで選択と集中を行い、今の坂東市に本当に必要な事業に財源を振り向け、未来に負担を残さない持続可能な財政運営をしています。今月号では、市の財政状況と財政改革についてお知らせします。

●市の財政状況

1. 地方債現在高の急増

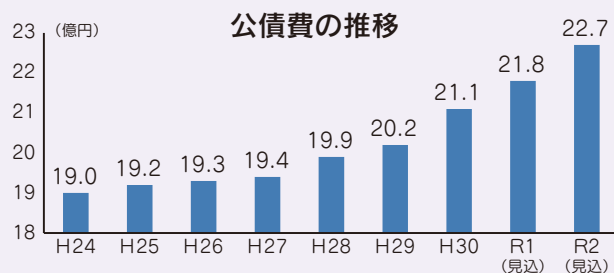
近年の大型建設事業（庁舎・その他公共施設）への投資により、地方債現在高は、平成24年から28年まで急増し、以後300億円を超えている状況です。



2. 義務的に必要な経費の増加

①公債費（返済費用）の増加

近年急増した地方債（借金）は、**3年または5年間据え置きが条件で、今年度から返済が本格化**するため、**公債費が増加**しています。



②社会保障費（医療・福祉）の増加

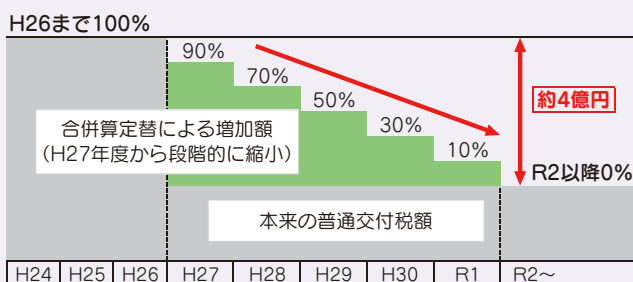
本市が負担する社会保障費は、平成26年度は**64.8億円**でしたが、30年度は**70億円**と**約5億円**増加しています。今後も医療や福祉の費用増加により、更なる財政負担が見込まれます。

3. 地方交付税（一般財源）の減少

地方交付税は、市町村の財政力等に応じて国から配分される財源です。

合併後の市が不利益にならないように、合併後10年間は特例的に計算（合併算定替）されました。その後、5年間で段階的に縮減され、今年度から通常の計算となりました。

平成26年度から**約4億円**が減少し、今年度は37.1億円となる見込みです。



4. 公共施設改修経費の増加

以前は「新たにつくる」に焦点があたる傾向でしたが、今後は保有財産を**費用対効果の視点も踏まえ、適切に維持管理していく時代**です。これまで長年未改修であった教育、福祉関連施設が多く、**長期的視野のもと財政負担等を考慮した改修や長寿命化を図る必要があります。**

